

# Topics

当院では、年に4～5回「市民健康教育公開講座」を行っています。  
現在、オンラインにて下記講座を配信してます。

**「オンライン開催」  
「YouTube 相模原協同病院公式チャンネル」**



YouTube公式



## 第59回市民健康教育公開講座

テーマ  
「つかってみよう産後ケア」  
講師：相模原協同病院  
産後ケア委員会



## 第58回市民健康教育公開講座

テーマ  
「救急のおはなし」  
講師：相模原協同病院  
救急センター  
副センター長兼救急救命士科長 菊地 斉



## 第57回市民健康教育公開講座

テーマ  
「肺がんのおはなし」  
講師：相模原協同病院  
呼吸器病センター 呼吸器外科  
部長 鈴木 繁紀

～地域と病院を紡ぐ～ 連携広報誌

Vol.17  
2023.4

# tsumugu



## 24時間万全な体制で多様な検査が可能

当院の放射線室は、画像診断と放射線治療の2部門に分かれています。単純X線撮影、X線TV透視撮影、血管撮影、CT検査、MRI検査などの画像診断支援業務と、高エネルギーX線を利用した高精度放射線治療を行っています。

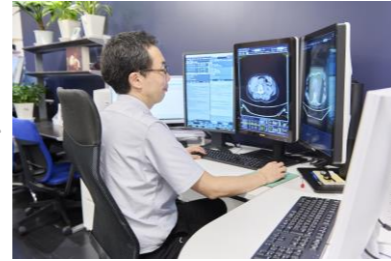
「tsumugu」について  
アンケートにご協力ください。



## 安全で正確な診断・治療のために

当院放射線室では、資格や認定取得にも力を入れており、マンモグラフィでは、マンモグラフィ認定技師(女性)により精度管理を日々行っています。放射線治療では、放射線治療品質管理士、医学物理士、放射線治療専門放射線技師が中心となり、治療計画・照射線量測定・照射装置の精度管理を行っています。

また、当院は急性期病院として多数の患者さんを受け入れており、救急業務に速やかに対応できるよう24時間365日稼働しています。放射線診断専門医、放射線治療専門医、看護師など病院職員と連携をとり、安全でかつなるべく被ばくが少ないように努め、正確な診断・治療のために私たちは日々研鑽し、患者さんに信頼していただける放射線室を目指しています。



## 対応可能な検査・治療

### 一般撮影(レントゲン撮影)

当院では、5台の装置を使用し、依頼に応じて胸部、骨撮影など全身の様々な部位を撮影します。入院患者さんなどで、撮影室への移動が困難な方には、移動式のポータブルX線装置により、病室で撮影することもできます。デジタル処理システムの導入により、被ばく低減に努め、最適な画像を作成、提供しています。また、新病院となり歯科口腔外科領域に関しても最新機種を導入しました。

### 乳房撮影(マンモグラフィ)

マンモグラフィとは、乳房専用のX線撮影のことです。乳房を複数の方向から板で圧迫し、薄く伸ばした状態で撮影します。乳房を薄く伸ばすことで乳腺が広がり、乳房内の微小石灰化や腫瘤影、乳腺組織構造を描出する検査です。当院では、患者さんの不安を和らげるために、撮影には女性技師が担当しています。X線検査では、少なからず被ばくを伴います。しかし装置の改良により、マンモグラフィの被ばく量は極めて少なくなっており、ほとんど問題はありません。



### 骨塩定量検査(DEXA法)

この検査では骨粗しょう症の診断や経過観察では欠かせない骨密度を測定します。骨密度を測定する検査はいくつかありますが、DEXA(デキサ)法と呼ばれる方法で背骨と脚の付け根の2か所を測定することが最も望ましいとされています。その理由は治療薬の効果が最も確認しやすい方法であること、背骨と脚の付け根の骨の骨折を予防することは生活の質を高く維持する上でとても重要であり、これらの骨の状態を直接知ることができるからです。X線を使用しますが、その量はごく少量で安全に検査を行うことができます。



### X線透視検査

当院では、X線透視検査においてFPD(フラットパネルディテクタ)装置を導入しており、消化管造影(胃透視や注腸)、特殊手技検査(ERCPイレウス管挿入、ミエログラフィ[脊髄腔造影])、といった検査をはじめ、皮下埋没型中心静脈ポート挿入といった手術等でも使用され、多目的な用途に用いられています。

## CT検査

当院では多列型CT装置(MDCT)が4台稼働しており、検査時間の短縮と、緊急を要する検査や高度な検査にも対応可能となっています。新病院移転時に新規導入した256列CT装置は、大幅に撮影スピードが向上し、患者さんの体動、息止め時間の短縮、及び低被ばく撮影を実現しています。また、最新の画像解析装置も増設し、心臓の冠動脈解析や大腸の仮想内視鏡画像、手術前のシミュレーションなどの様々な3次元再構成処理を行い、より診断価値の高い検査を実現しています。もう1台のCT装置も、新しい装置に更新されました。4台体制となり、救急・夜間においても多種多様な依頼に対応できる体制が整っています。また、地域の開業医の先生方からの依頼も速やかに対応し、画像データを添えた報告書を迅速に提供しています。



## MRI検査

MRI検査は、磁石の力を利用して検査しているので、X線を利用する一般撮影やCT検査のように被ばくすることはありません。最新の高磁場装置を2台保有(3.0T・1.5T)しており、脳、脊椎、四肢の関節、下腹部の検査を得意としています。当院では急性期の脳疾患や、脊髄損傷などの急患撮影を24時間対応しています。



## 血管造影検査

血管撮影とは、カテーテルを動脈や静脈に挿入し、目的の部位で造影剤を流して撮影をする検査です。近年ではさまざまな手技が発展し、診断だけでなく、血管造影手技を応用して、血管性病変、腫瘍などの治療を行うIVR(Interventional Radiology)が主流になっています。当院では3台の装置が導入されており、主に経皮的冠動脈形成術(PCI)ペースメーカー植え込み術、肝動脈塞栓術、脳血管内手術等が行われています。夜間にも心筋梗塞等緊急を要する治療にも対応しています。また手術室には国内でも少ないHybrid装置(Ope・Angio)も導入し、手術をしながら血管撮影ができる部屋として稼働しています。各装置共FPD(フラットパネルディテクタ)システムを搭載しており、低被ばくで鮮鋭な画像を提供しています。



## 放射線治療

移転新築時に、高精度放射線治療装置ハルシオン(バリアン社製)を新規導入しました。従来機より短時間で治療が可能となり、放射線治療のストレスが少ない治療装置です。更に正常組織への副作用が少なく、病巣へ放射線を集中することが可能となりました。放射線治療は根治照射から緩和照射まで広い範囲で治療の適用となります。高精度の放射線治療を通して、一人一人の状態に適した人にやさしい治療を心がけています。



公式ホームページ

相模原協同病院 TEL:042-761-6020(代)へご連絡ください。

